



株式会社 シイエム・シイ

2023 年 9 月期第 2 四半期決算説明会

2023 年 5 月 12 日

イベント概要

[企業名]	株式会社 シイエム・シイ		
[企業 ID]	2185		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2023 年 9 月期第 2 四半期決算説明会		
[決算期]	2023 年度 第 2 四半期		
[日程]	2023 年 5 月 12 日		
[ページ数]	16		
[時間]	15:30 – 15:43 (合計：13 分、登壇：13 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	代表取締役社長	佐々 幸恭 (以下、佐々)	
	取締役執行役員 管理本部長	杉原 修巳 (以下、杉原)	

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



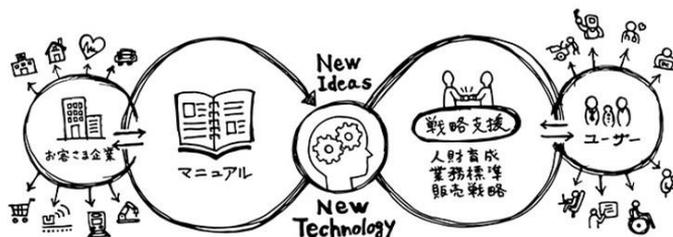
登壇

司会：株式会社シイエム・シイ、2023年9月期、第2四半期連結決算説明動画をご視聴いただき、誠にありがとうございます。この動画は、業績報告、業績見通し、成長戦略への取り組みで構成しております。全編ご視聴いただくことも、ご興味のあるチャプターを選択してご視聴いただくことも可能ですので、ご都合に合わせてご視聴ください。

はじめに、代表取締役社長 佐々幸恭よりご挨拶を申し上げます。

CMC GROUPの特徴

製品・技術情報を知り尽くし、お客さま企業に寄り添う、
「DXを影で支える黒子企業」



創業60年、
常に変化をしながら、
持続的に成長



大手お客さま企業との
長年の信頼のお付き合い



磐石の財務基盤により、
成長戦略への投資や
資本政策を機動的に実施

2

佐々：日頃はシイエム・シイグループに格別のご厚情を賜り、感謝申し上げます。当第2四半期では、おかげさまで右上がりの業績が継続となりました。シイエム・シイグループのビジネスモデルは、お客様企業に寄り添い、お客様の商材・業務を知り尽くし、サポートするもので、この仕組み作りに注力しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2

長年の信頼関係を生かし、時代に合わせた最適なデジタル技術でご支援をする。この時代に沿ったビジネスモデルが、右上がりの原動力と確信しております。お客様企業に寄り添う黒子型のビジネスモデルがゆえに、全てをお伝えはできませんが、当社業務の本質である、必要な人に、必要な情報を、必要な形で、必要なときに、必要なだけお届けする。このビジネスモデルに変わりはありません。

皆様に当社の本質を深くご理解いただけるよう、引き続き情報発信に努めてまいります。当第2四半期の業績、取り組みについてまとめましたので、ぜひご覧ください。

業績サマリー

売上高、営業利益ともに大幅な増収増益

データの利活用を用いた継続的な生産性向上により、想定以上の受注に対応

中間決算において
売上高、利益項目
ともに過去最高

単位:百万円

	2022年9月期 第2四半期累計	2023年9月期 第2四半期累計	前年同期比
売上高	8,203	10,012	+22.1%
売上総利益	3,050	3,878	+27.1%
営業利益	979	1,786	+82.4%
(営業利益率)	(11.9%)	(17.8%)	(+5.9%)
経常利益	1,115	1,745	+56.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	747	1,173	+56.9%
EPS	56.18円	88.54円	+32.36%

6

司会：業績報告を管理本部長 杉原修巳よりご説明申し上げます。

杉原：2023年9月期第2四半期連結業績についてご説明申し上げます。売上高は、前期比22.1%増の100億1,200万円となり、第2四半期としては過去最高、初の100億円超えとなりました。技術マニュアル案件において、受注案件の規模が期初想定を大幅に超えた規模となったこと、また受注案件の期ズレによる前倒しが重なったことが要因です。

営業利益においては、増収効果に加え、生産性向上による収益性向上が大きく貢献し、前期比82.4%増の17億8,600万円、また営業利益率は17.8%と、第2四半期ベースでは金額・利益率と

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



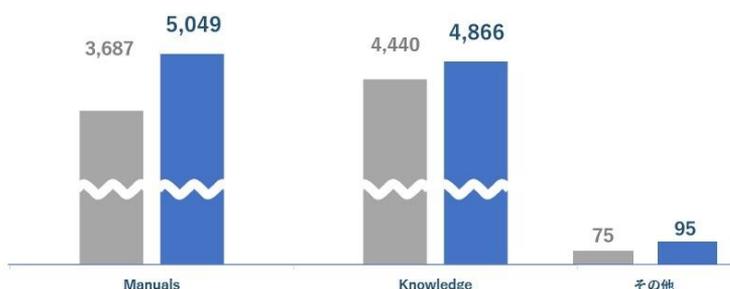
もに過去最高となりました。経常利益については、円安是正に伴う為替差損が約1億円あったものの、前期比56.5%増の17億4,500万円となりました。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期比56.9%増の11億7,300万円となりました。

事業分類別売上高

Manualsの受注拡大により、大幅な増収

単位:百万円

売上高	2022年9月期 第2四半期累計		2023年9月期 第2四半期累計		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
Manuals	3,687	45.0%	5,049	50.4%	+36.9%
Knowledge	4,440	54.1%	4,866	48.6%	+9.6%
その他	75	0.9%	95	1.0%	+26.7%



ご参考) 仕向け先別売上高



※国内 国内市場向けの商材・サービス
 ※海外 海外市場向けの商材・サービス

7

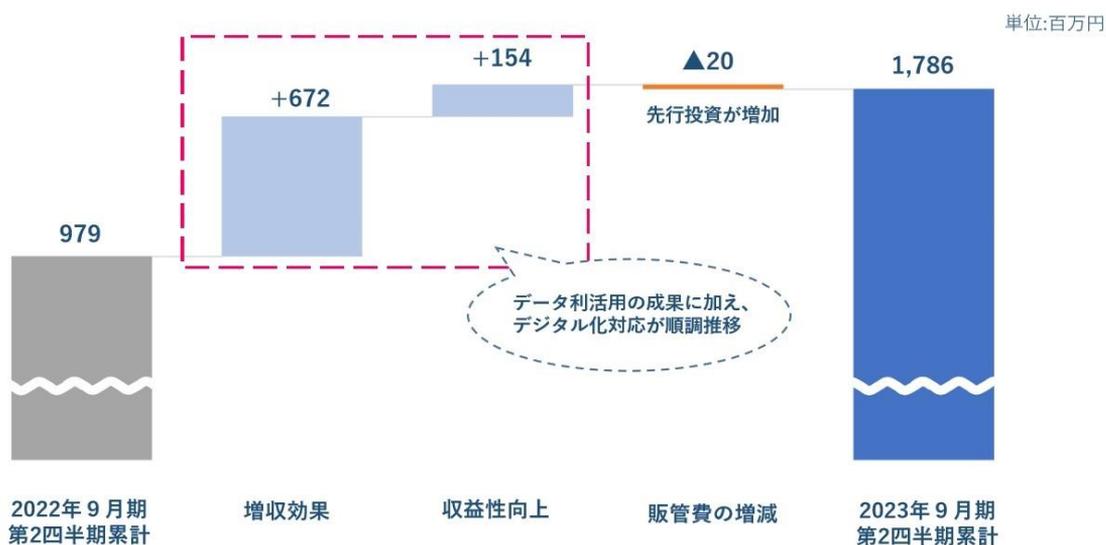
事業分類別売上高については、ご覧のとおり、技術マニュアル、特に海外市場向けの受注拡大により、Manualsが大幅な増収となりました。具体的には、Manualsは50億4,900万円、前期比36.9%の増収。Knowledgeは48億6,600万円、前期比9.6%の増収となりました。なお、仕向け先別売上高においては、海外市場向けの技術マニュアルが好調に推移したことから、海外向けの売上高が大幅に増加いたしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

営業利益増減要因

生産性向上の取組みが増収効果と収益性向上に寄与



8

営業利益増減要因については、ご覧のとおり、増収効果が大きく貢献しております。受注規模の拡大と期ズレによる前倒しにより、期初想定を超える受注量となりましたが、自社開発ソフトウェアの徹底活用とDX推進によるデータの構造化や、利活用を進めた結果、生産性と収益性の向上を図ることができました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

貸借対照表

単位:百万円

資産の部	2022年9月末	2023年3月末	差額
流動資産	17,102	17,402	+300
（内、現金及び預金）	11,504	13,203	+1,698
固定資産	5,524	5,482	▲42
資産合計	22,626	22,884	+257

負債及び純資産の部	2022年9月末	2023年3月末	差額
流動負債	3,459	2,920	▲539
固定負債	1,635	1,636	+1
負債合計	5,094	4,556	▲538
株主資本	17,020	17,814	+793
その他	511	514	+2
純資産合計	17,532	18,328	+795
負債純資産合計	22,626	22,884	+257

9

貸借対照表については、ご覧のとおり、増益により純資産が増加し、自己資本比率は約 80%となりました。引き続き ROE 向上に向け、最適負債資本構成に留意してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



業績見通し

3期連続の増益、最高益更新を予想

単位:百万円

	2022年9月期	2023年9月期 (予想※)	前期比
売上高	17,917	18,000	+0.5%
営業利益	2,590	2,800	+8.1%
(営業利益率)	(14.5%)	(15.6%)	(+1.1ポイント)
経常利益	2,964	3,000	+1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,003	2,100	+4.8%
EPS	150.56円	158.57円	+8.01円
ROE	12.0%	11.4%	▲0.6ポイント

※2022年11月11日に公表した予想からの変更はございません

11

司会：業績見通しを、管理本部長 杉原修巳よりご説明申し上げます。

杉原：2023年9月期の通期業績予想については、ご覧のとおり、昨年11月に公表した予想数値から変更はございません。受注はしっかり確保しておりますが、お客様企業の動向による期ズレの発生など、事業環境には不確定な要素があるほか、下期に予定している投資の実行を見極める必要もあるため、通期業績予想については据え置きいたします。今後、業績の進捗状況を見ながら、適時、見直ししてまいります。

サポート

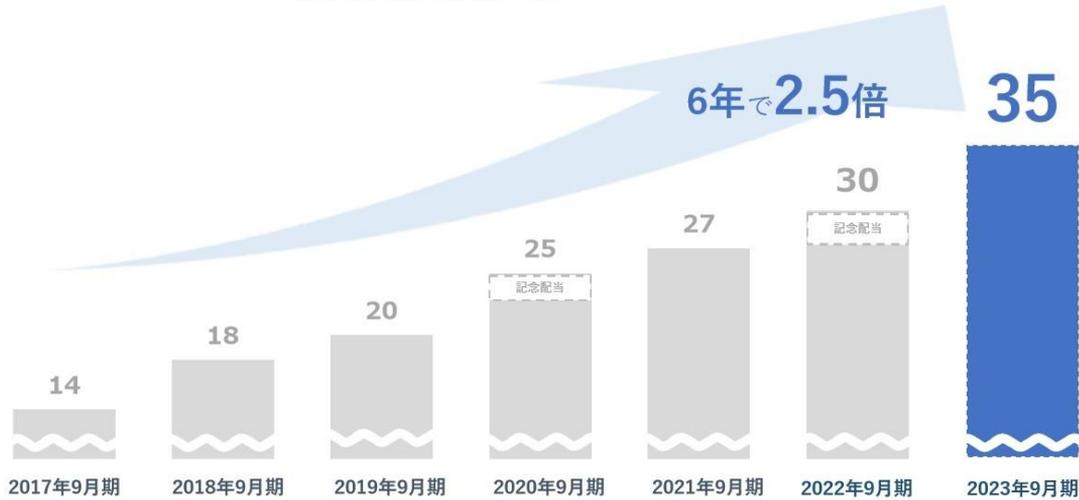
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



6期連続の増配予想

業績動向、財務体質、将来に向けた投資に必要な内部留保等を総合的に勘案し、
配当金額の継続的な増額を実施

単位:円



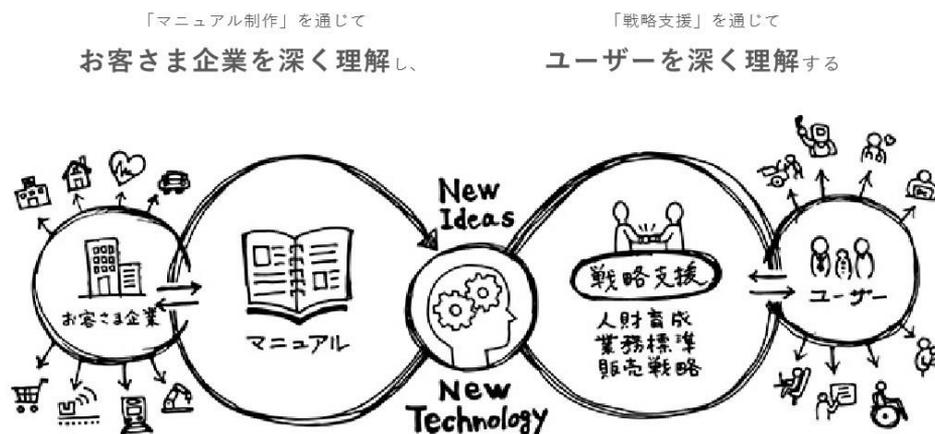
12

配当予想については、期初にお示したとおり、安定的に継続的な増配を目指す方針のもと、5円増額の1株当たり35円といたします。これにより、6期連続の増配となります。引き続き機動的な資本政策を通じて、株主還元を努めてまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

中期経営計画の実現に向けて



このサイクルを回し続けることで、
お客さま企業を全面的にサポートし、行動変容に導く

14

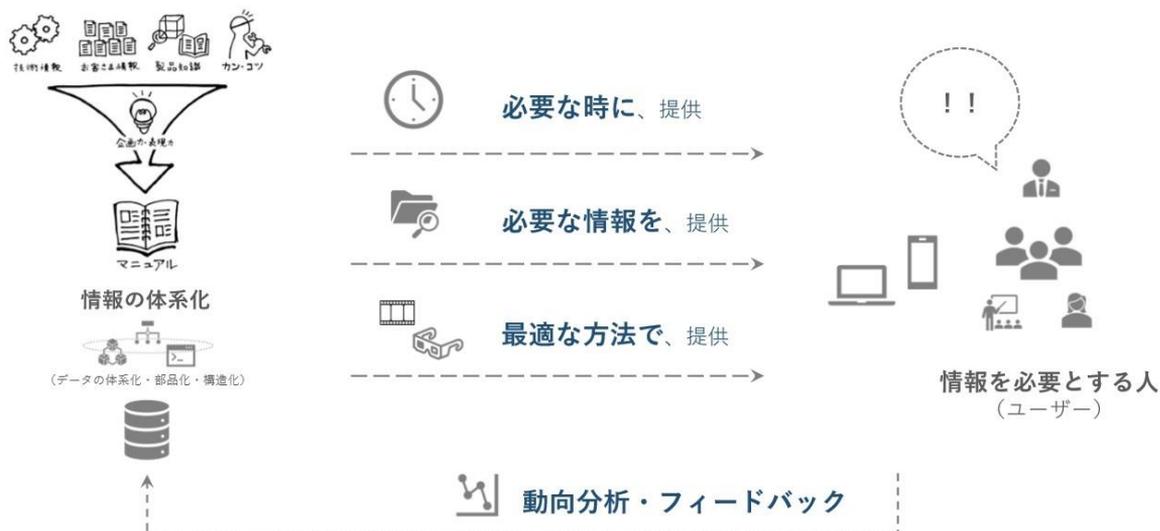
司会：成長戦略への取り組みについて、ご説明申し上げます。当社は、マニュアルで培ったノウハウを活用し、人財育成、業務標準、販売戦略などの戦略支援を通じて、お客様企業を全面的にサポートし、ユーザーの行動変容に寄り添うビジネスモデルを目指しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

中期経営計画の実現に向けて

我々が創り出す情報の**ユーザーエクスペリエンス**（顧客体験価値）を**最大化**し、**情報価値向上サイクルの実現**をめざす



15

お客様企業の技術情報や製品情報、カン・コツなどの情報を体系化し、情報を必要とする人へ、必要なときに、必要な情報を、最適な方法で提供することで、ユーザーのうれしさを創出します。また、ユーザーの情報活用動向を分析して、データベースへ反映することで、次の情報提供の質を高め、持続的な情報価値向上サイクルが実現できます。

サポート

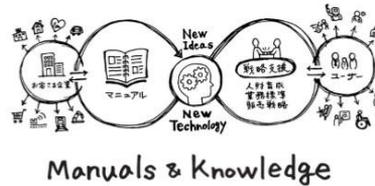
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

中期経営計画の実現に向けて

我々が創り出す情報のユーザーエクスペリエンスを最大化し、
ビジネスを次世代の価値に進化させる

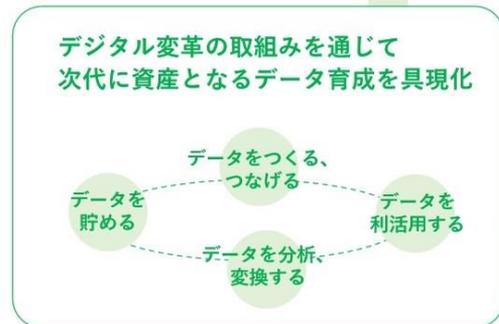
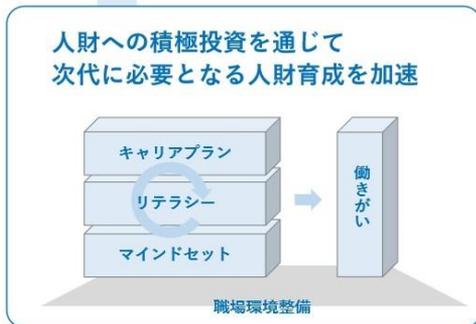
人財を育てる

次代の価値をつくる
ための人財育成



データを育てる

次代の資産とするため
のデータ育成



16

これが、私たちが目指す情報価値のサステナビリティです。この実現には、データが巡るように整えること、お客様企業と情報を必要とする人をつなぐビジネスデザインが欠かせません。そのため、当社は人財を育てる、データを育てることを中期経営計画の方針として掲げております。

当期におけるデータを育てる取り組みとしては、お客様企業と共創しながら、データをつくる・つなげる、データを貯める、データを分析・変換する、データを利活用する取り組みを進め、次代の資産となるデータ育成を進めました。

また、人財を育てる取り組みとしては、職場環境の整備に加え、マインドセット、リテラシーの向上、キャリアプランの実現のサイクルを回し、働きがいを醸成する取り組みを行い、次代に必要な人財育成を加速させました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



成長に向けた主な取組み -時代、社会、現場に寄り添う-

データを育てる

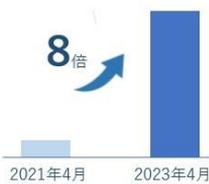


知識、経験、ノウハウなどをデータ化し、 情報価値を高めるプラットフォーム実現に向け、展開を進める

□DX推進による業務効率化・省人化



[導入自治体・官公庁数]



自治体・官公庁に
強みを持つ企業と連携し
サービス導入を推進

導入企業・団体数 **190**社を突破

KAIZEN FARMに関する情報はこちら <<https://kaizenfarm.jp/>>

□自動車整備業界の働き方改革



整備DXに向けた
第一弾取組み

[ユーザー向け展示会]



現場に寄り添い、
整備事業者への
導入活動に注力

楽々エーミングに関する情報はこちら
<https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2022/04/oshirase_20220420.pdf>

17

当社は、成長に向けた主な取り組みとして、知識、経験、ノウハウなどをデータ化し、情報価値を高めるプラットフォーム実現に向け、取り組みを進めております。業務手順の棚卸しを支援するツール、KAIZEN FARM では、導入企業・団体数が190社を突破いたしました。

当期については、デジタル庁創設により、自治体・官公庁で業務改善ニーズが増加したことを背景に、自治体・官公庁に強みを持つ企業と連携した導入活動を推進しております。整備事業効率化アプリ、楽々エーミングは、整備DXに向けた取り組みの一つです。当期については、展示会、セミナーなど、現場に寄り添い、整備事業者への導入活動に力を入れております。データを集め、分析し、業務改善に活用する取り組みを今後も推進してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



12



「必要な時に、必要とする情報を、最適な方法で提供」
時代に合わせた、新たなコミュニケーション手法を研究

[産官学連携(※) 自閉症啓発イベント]



※中京大学、愛知県、岡崎市、大府市、木村情報技術

[就活生向け グループ合同 会社説明会]



産官学連携によるメタバースイベントに関する情報はこちら
<https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2023/03/oshirase_20230315.pdf>

当社は、必要なときに、必要とする情報を、最適な方法で提供し、ユーザーのうれしさを生み出すために、新たなコミュニケーション手法を研究しております。当期については、メタバース技術を活用した産官学連携の自閉症啓発イベントや、就活生向けグループ合同会社説明会を実施し、ビジネスへの活用検証を進めました。時代に合わせ、最適な技術を徹底活用するべく、取り組みを推進してまいります。

佐々：最後までご視聴いただき、誠にありがとうございました。引き続きよろしくお願い申し上げます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

メディア出演のご紹介

日本経済新聞社 テレビ愛知主催
「LBS ザ・フォーラム」



日経CNBC×株探スペシャル 2023
点検！知られざる最高益企業
～未来の“ブルーチップ”を探せ～



動画視聴URL [こちら](#)

テレビ東京 事業承継紹介番組
「THE 事業承継 その灯を消すな！」



動画視聴URL(YouTube) [こちら](#)

【お問い合わせ先】 株式会社シエム・シイ 経営企画室 keieikikaku@cmc.co.jp

19

司会：当社が進める成長戦略の取り組みについて、各方面の皆様から、興味・関心の声を頂戴し、取材いただく機会が増えております。取り組みをまとめましたので、併せてご覧ください。引き続き、皆様への情報発信、対話の機会を増やし、当社を魅力的に感じていただけるよう努めてまいります。

2023年9月期、第3四半期累計期間の決算発表は2023年8月10日を予定しております。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

